



ネットワンシステムズ事業概要

ネットワンシステムズ 株式会社 [証券コード 7518]

2023年5月

1	プロフィール	P.02-12
2	中期経営計画の概要（2023年3月期～2025年3月期）	P.13-17
3	サービスシフトの加速	P.18-23

1

プロフィール

社名	ネットワンシステムズ株式会社（証券コード：7518）
設立	1988年2月1日
上場	2001年12月20日 （東京証券取引所 市場第1部（現：プライム市場））
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
代表者	代表取締役社長 竹下 隆史
本社	東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー
資本金	122億79百万円（2023年3月31日現在）
事業内容	情報インフラ構築と関連サービスの提供 戦略的な利活用ICTノウハウの提供
従業員数 （連結）	2,548名（2023年3月31日現在）
事業拠点	札幌、仙台、つくば、東京、名古屋、豊田、金沢、 大阪、広島、高松、福岡、沖縄



NetOne-SOC

24時間365日
リアルタイム監視



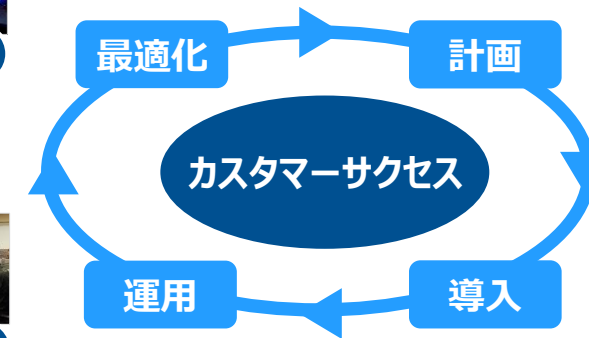
XOC

24時間365日
クラウドシステムを含む
ICT基盤の高可用性を支援



nBC

お客様とのエンゲージメント強化



テクニカルセンター

国内最大級の
ICT技術研究施設

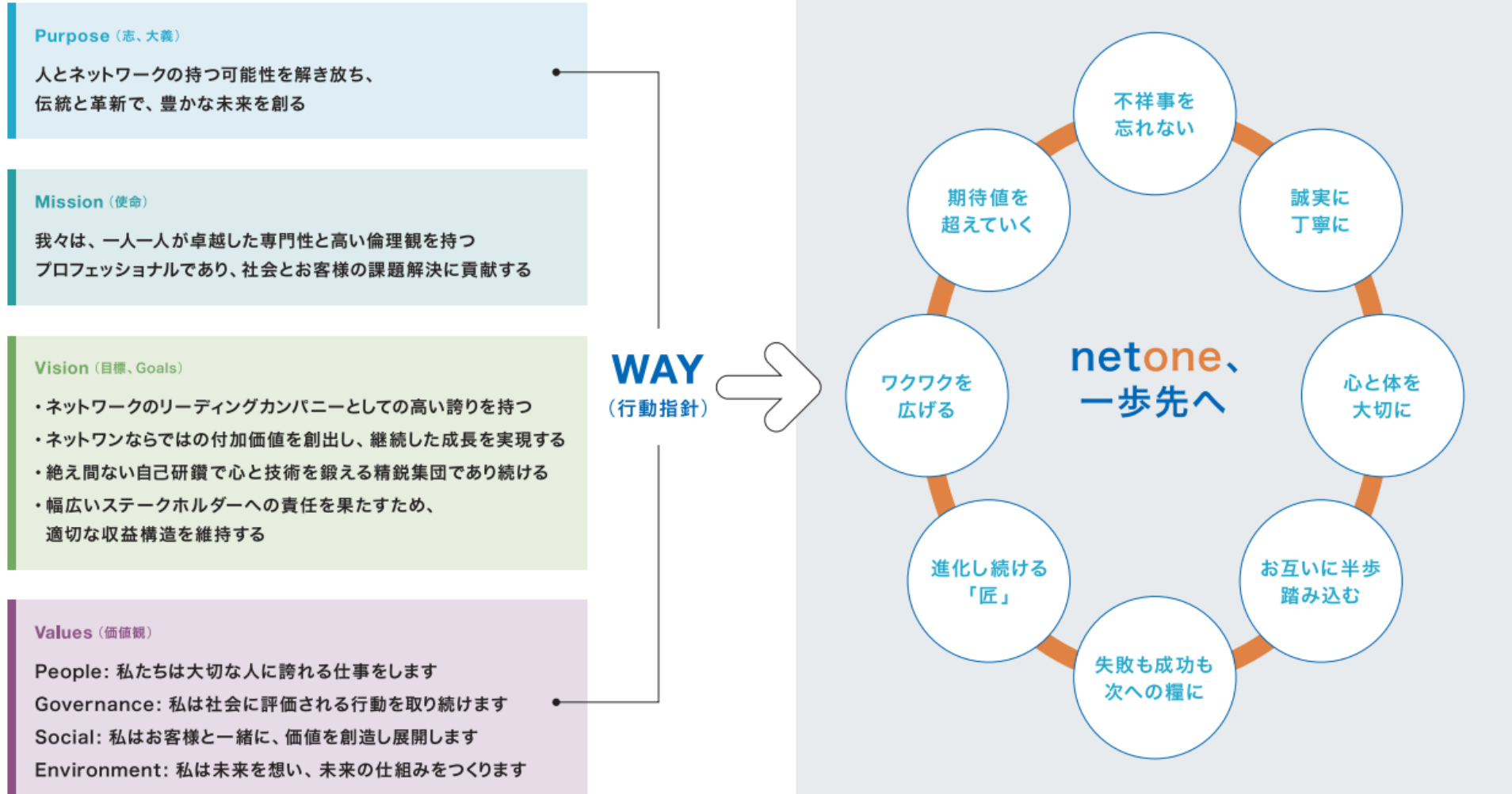


品質管理センター

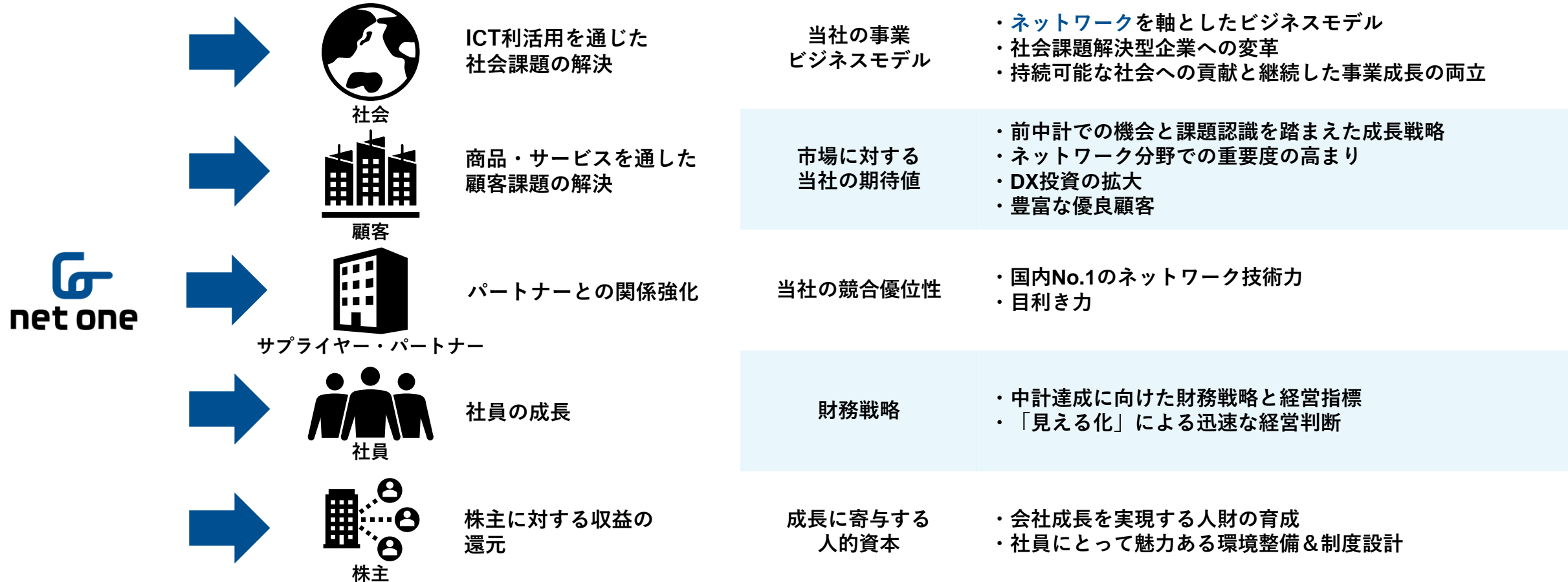
販売商品・保守部材の
品質・物流・在庫を一元管理

お客様のICTライフサイクル全てを支える施設があります

ICTの利活用を通じ、社会課題の解決に取り組むために、Purpose（志、大義）、Mission（使命）、Vision（目標、Goals）、Values（価値観）そしてWAYを策定

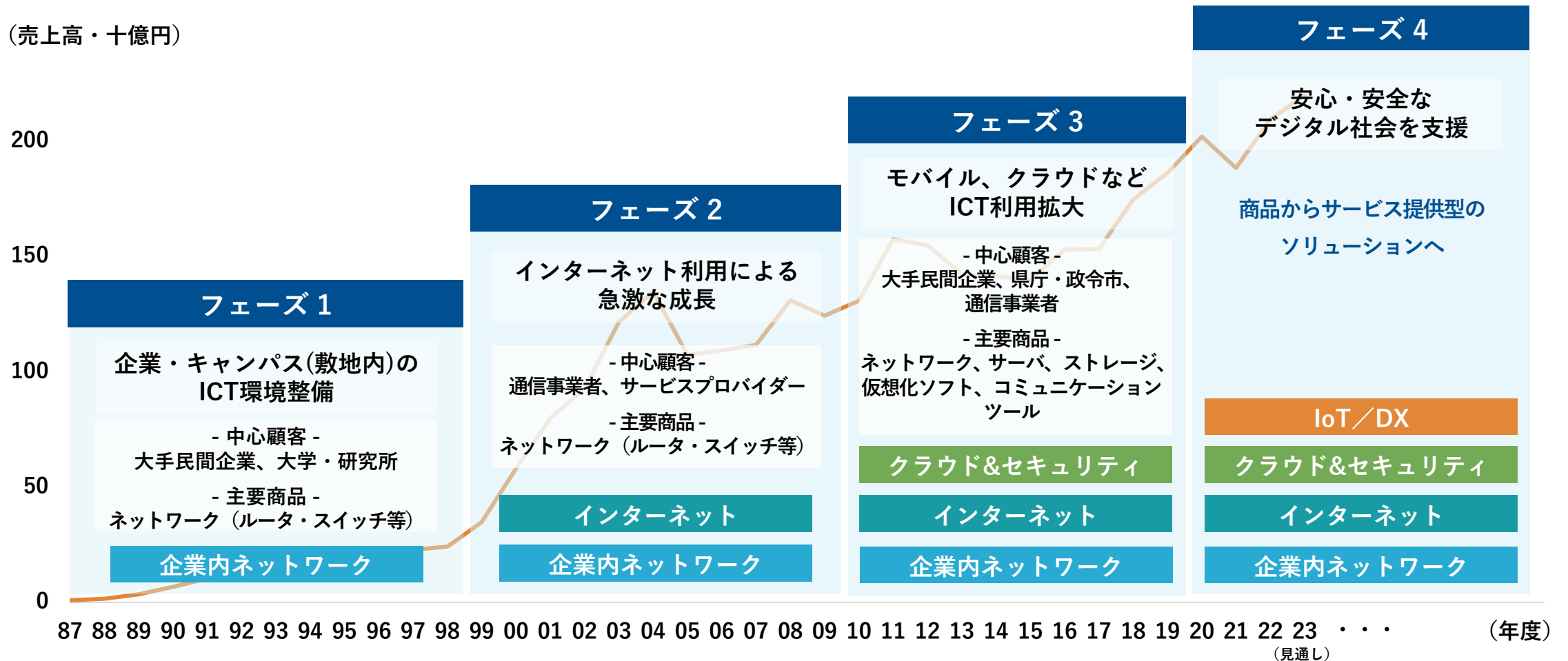


エクイティストーリー

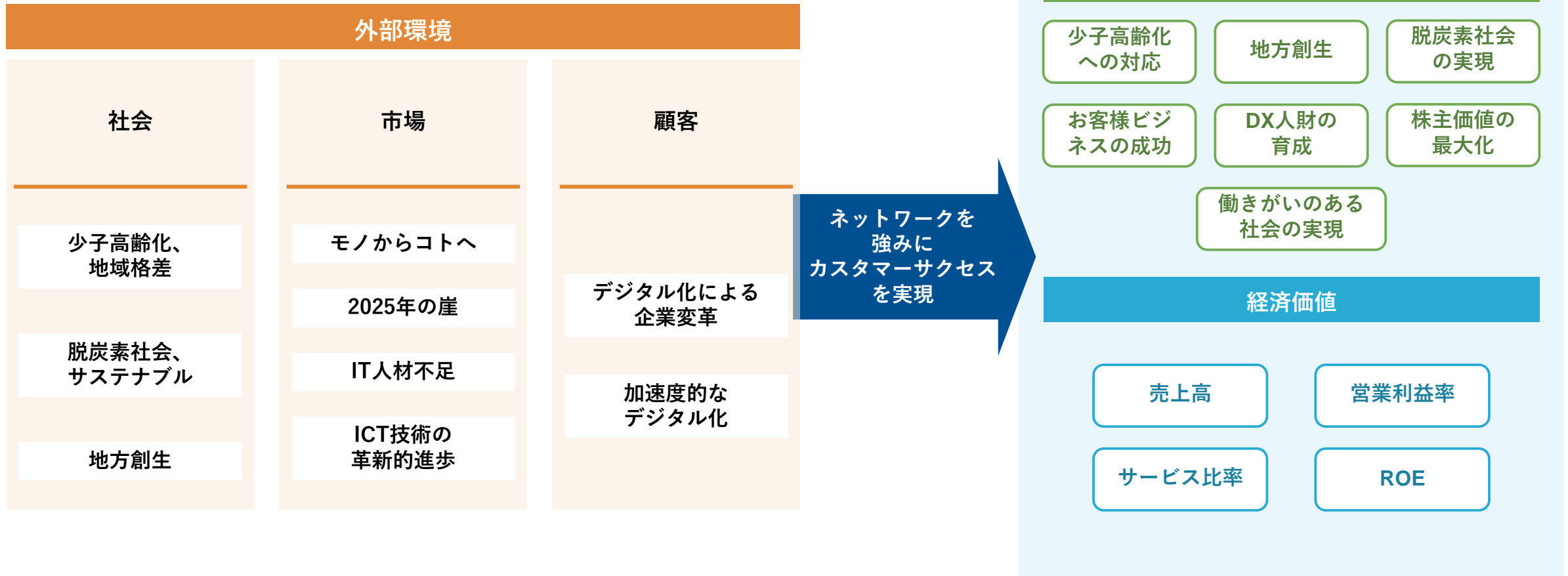


人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、伝統と革新で豊かな未来を創る

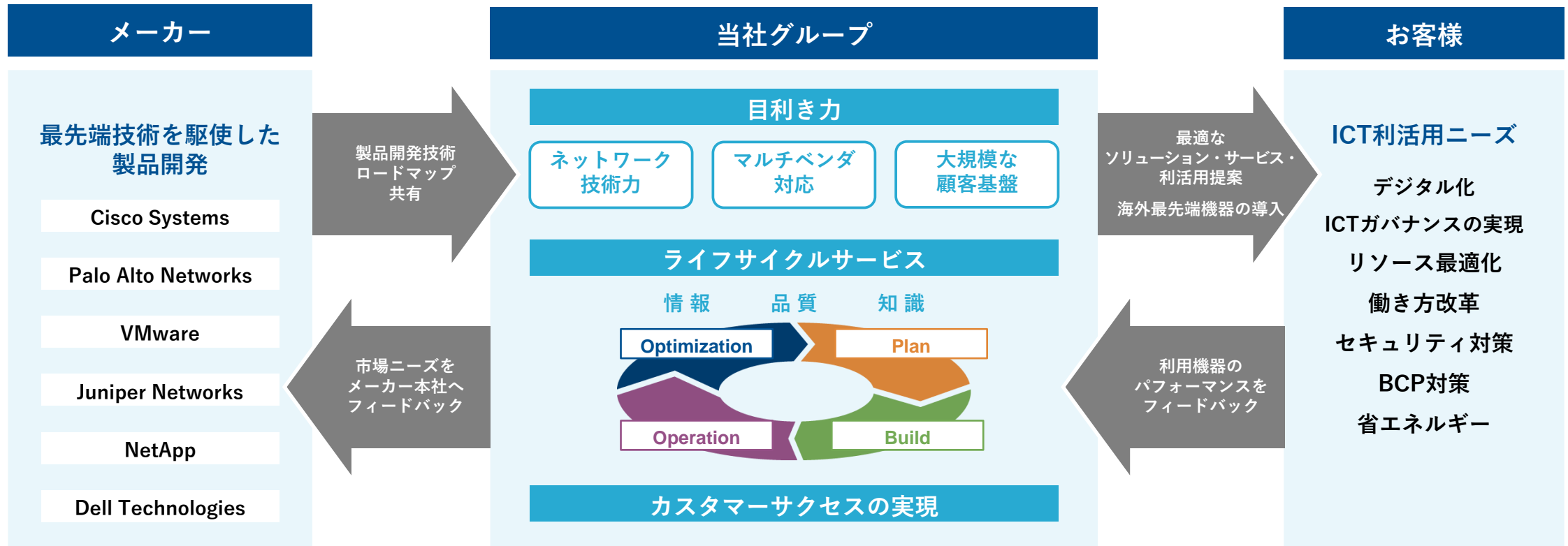
ネットワーク技術の中核に一步先を行くニーズを汲み取り、専門性を高めながら成長
クラウド、IoT、ビッグデータなど、デジタル化は加速しており、当社のCore Competenceである
ネットワーク技術を中心としたICT利活用の拡大に伴い、事業機会は増加



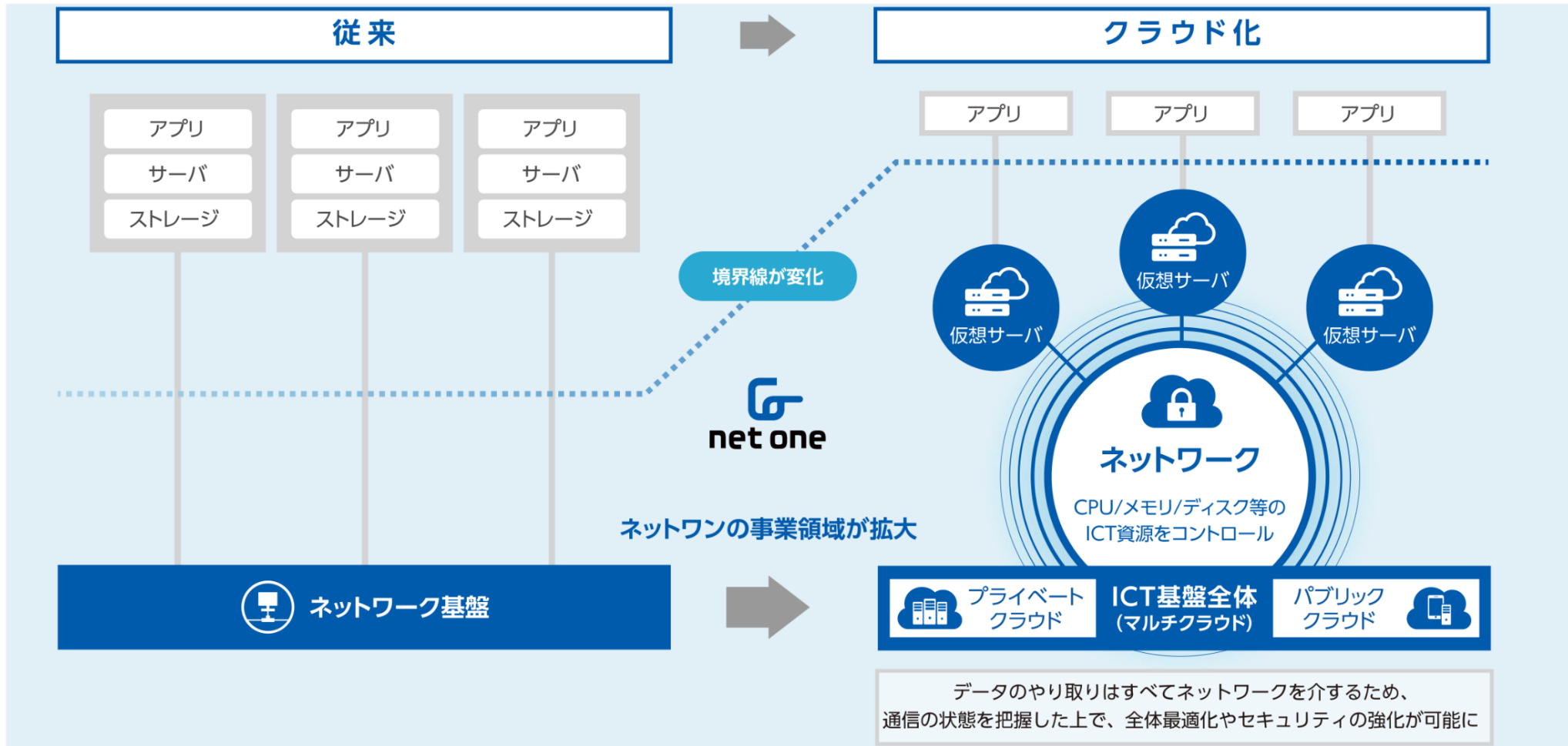
デジタル化の需要が高まる中、カスタマーサクセスの実現を通じて
社会課題の解決に貢献し、社会価値と経済価値を創出



世界のトップメーカー製品を組み合わせたICTシステムを検証・評価し、現場で機能する環境を提案・提供
利活用・ノウハウを提案することで付加価値を高め、お客様との関係を深め、よりの確な解決策を提供

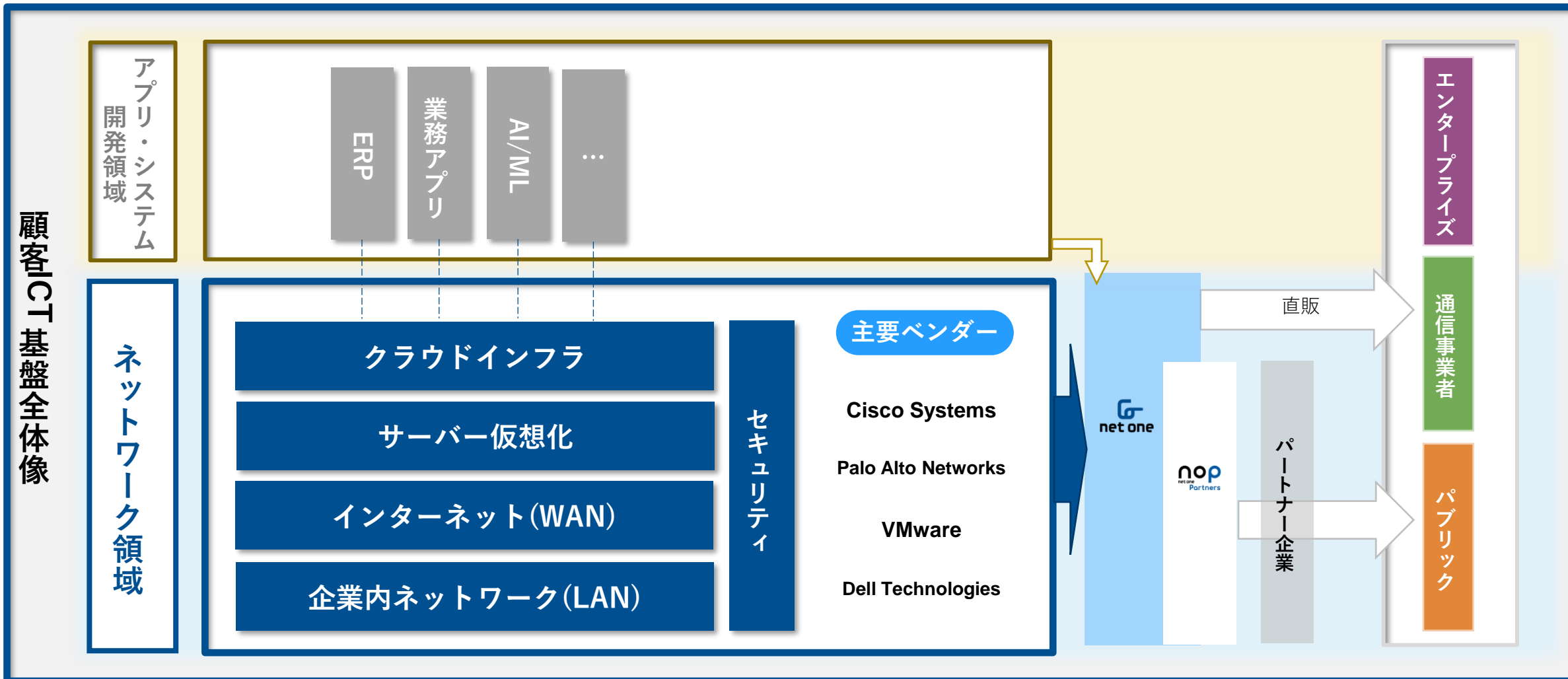


高度なネットワーク技術を差別化要素として、ネットワーク専業から、クラウド・セキュリティ・IoT等のICT基盤全体へと事業領域を拡大



事業領域と市場へのアプローチ

事業ネットワークにこだわり続け、高度なネットワーク技術を持つネットワンだからこそ
お客様の課題に寄り添った、多くの付加価値を創出することが可能

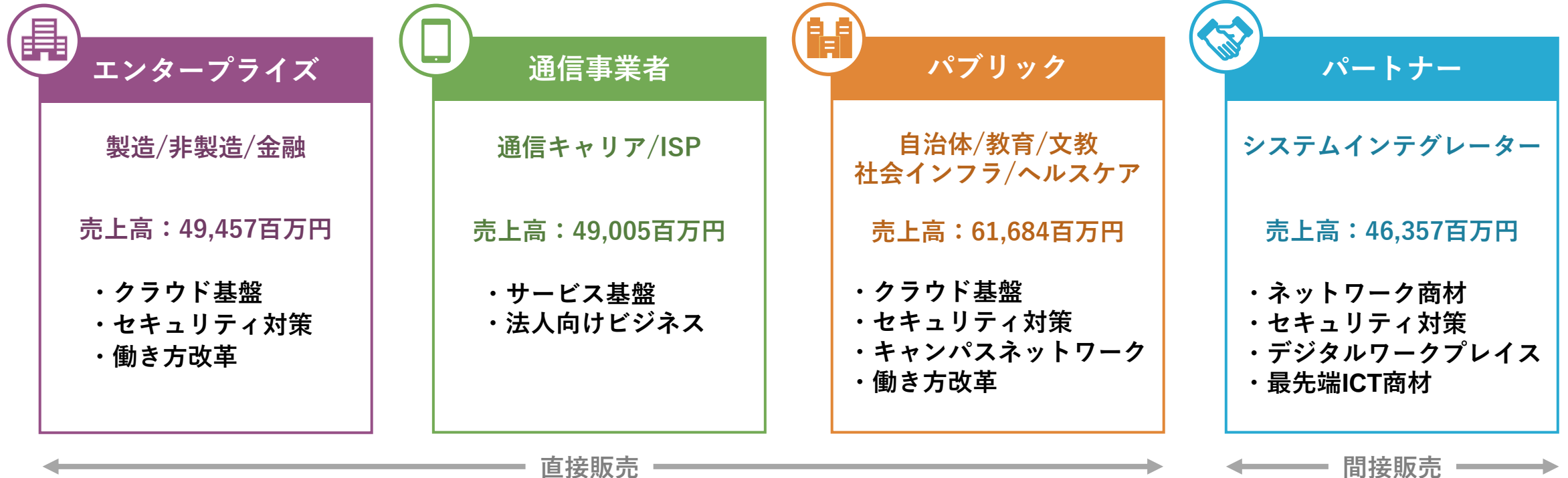


事業領域を市場の特性に合わせて4つに分類し、ICT利活用によるお客様の課題解決を推進
 特定業種への依存が低いICTインフラのご支援によって、バランスの取れた事業成長を実現

2022年度 売上高 2,096億円

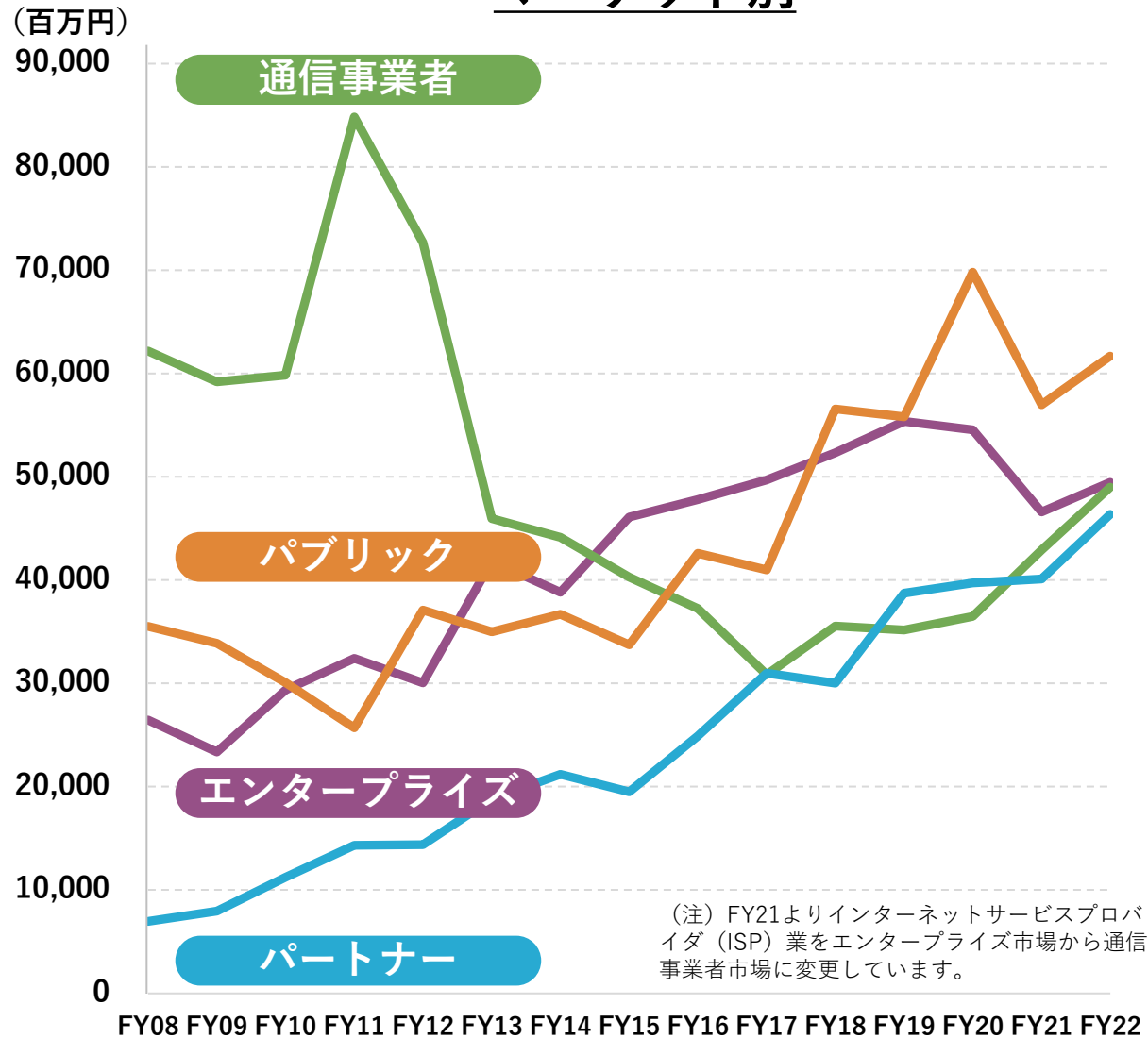


(注) その他、報告セグメントに含まれない事業セグメント（グローバル事業等）があることから、上記構成比の合計は100%になりません。

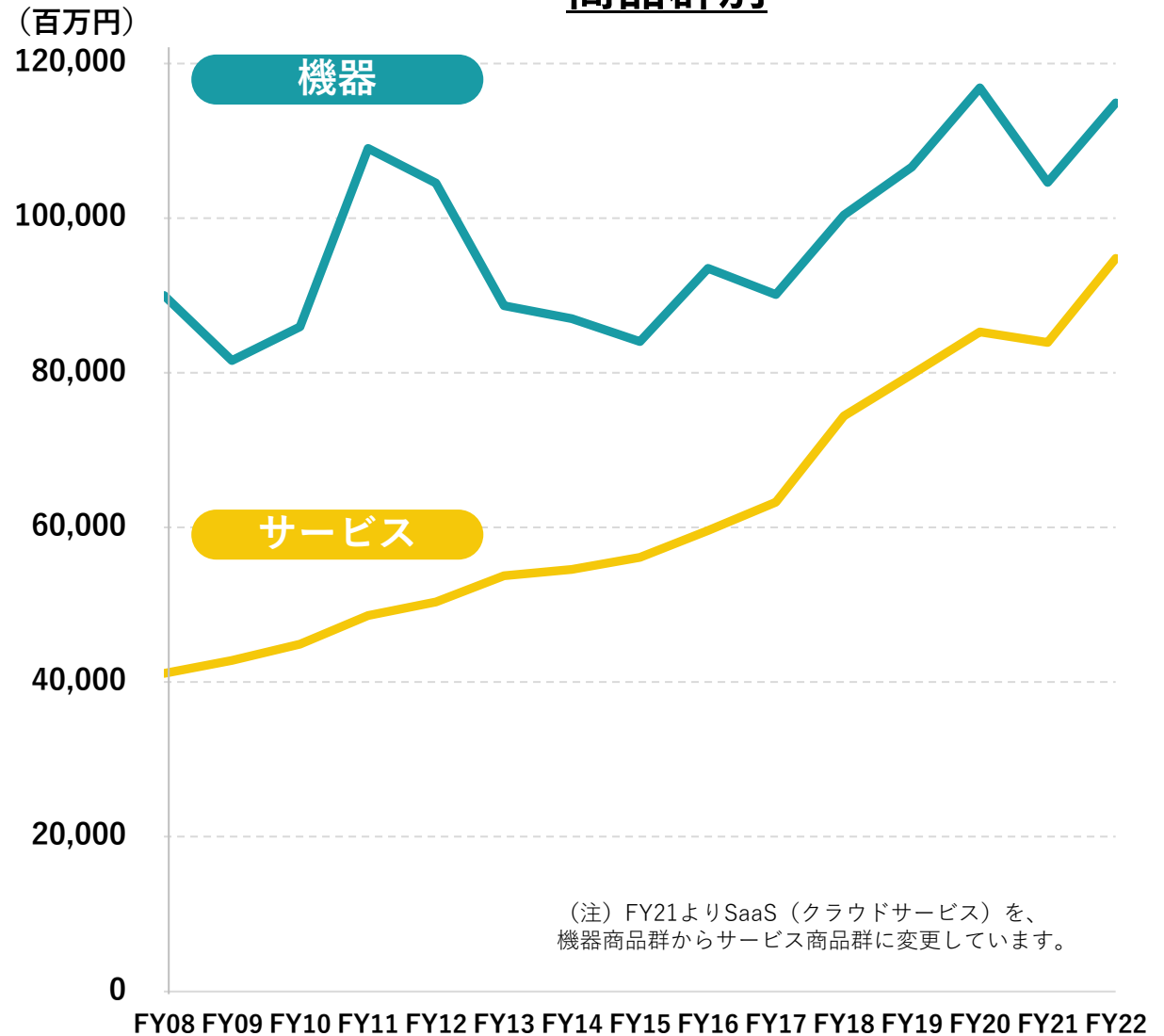


売上高の推移

マーケット別



商品群別



2

中期経営計画の概要 (2023年3月期～2025年3月期)

再定義した新理念体系に向けて成長戦略の遂行と、それを支える経営基盤の強化を目指す

成長戦略

事業戦略	注力領域で売上高を+300億円創出 ① スマートマニュファクチャリング +100億円 ② Society 5.0を実現する社会基盤 +100億円 ③ デジタルガバメント +100億円
サービス戦略	ニーズの変化に対応した収益性の高い付加価値サービスを提供 注力サービスを拡大し、サービス比率55%を目指す
財務戦略	事業のサービスシフトに伴う財務戦略の策定・遂行 ① 最適な資本構成の追求 ② 戦略的な投資 ③ 積極的な株主還元

経営基盤強化

人財戦略	多様な人財の成長と活躍で経営を支える
徹底した見える化	データの見える化で変革スピードを上げる
企業文化改革	不祥事の再発防止のため、企業文化・組織風土を根本的に改革

社会的責任

サステナビリティ	マテリアリティの特定
----------	------------

DX&社会課題解決を新たな需要領域として、安定成長に向けたサービスシフト（共通化・自動化）も加速することで
経営指標「売上高・営業利益率・サービス比率・ROE」を継続して改善

	FY21 実績	FY24 計画
売上高	1,885 億円	2,260 億円
営業利益	167 億円	271 億円
営業利益率	8.9%	12.0%
サービス比率	44.5%	55.0%
ROE	15.8%	20.0%

ビジネスモデルの変革

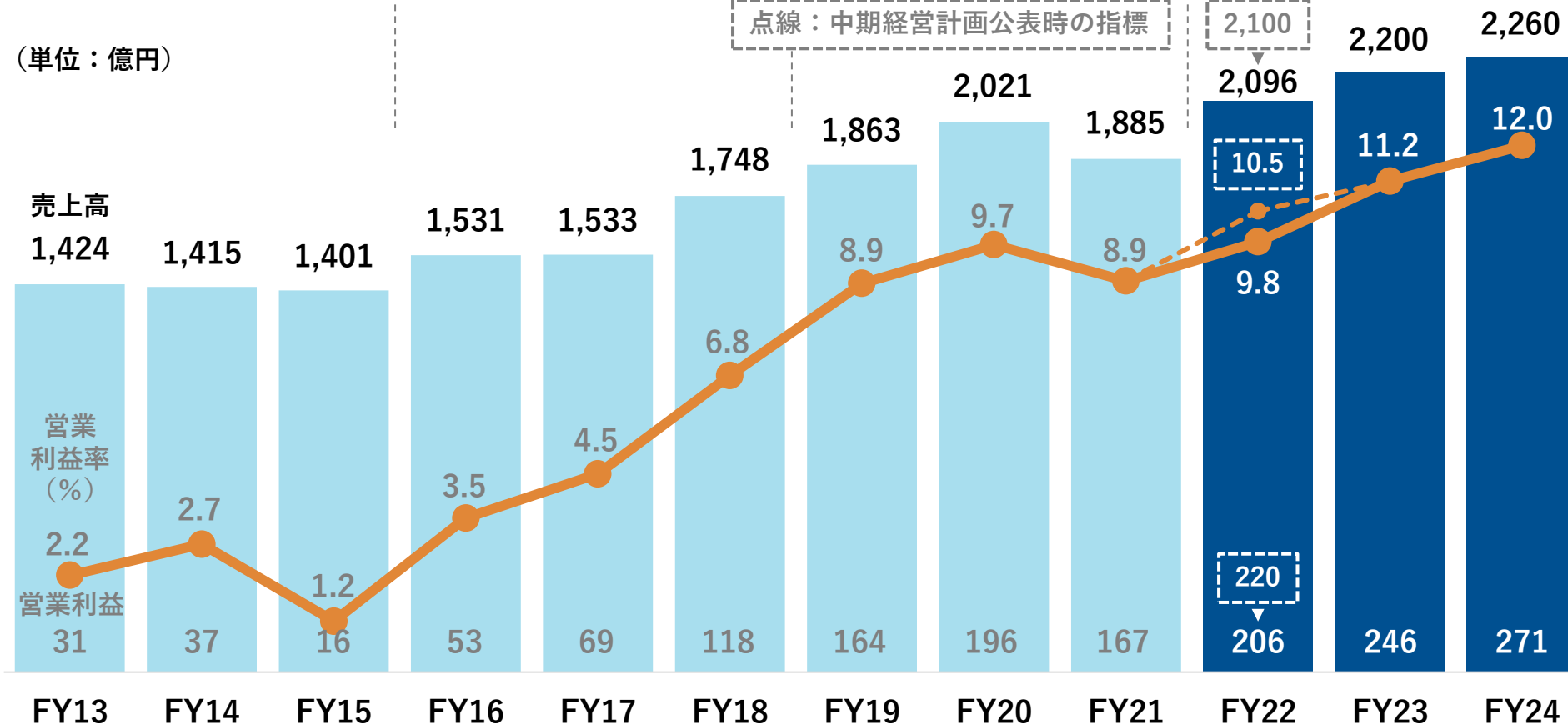
継続した成長
(クラウド・セキュリティ)

+ 次世代に対応する変革
(統合サービス事業)

+ DX&社会課題の解決
(サービスシフトの加速)

ネットワーク技術を核とした、新しい事業領域の確立

ライフサイクル全体の支援 要の獲得 & 安定成長



事業戦略

社会課題解決&DX需要（脱炭素/少子高齢化/地方創生）の高い領域に注力

売上高：+100億円

売上高：+100億円

売上高：+100億円

スマートマニュファクチャリング

Society5.0を実現する社会基盤

デジタルガバメント

世界最高水準のネットワーク技術

ネットワーク&セキュリティ&クラウド&全体運用

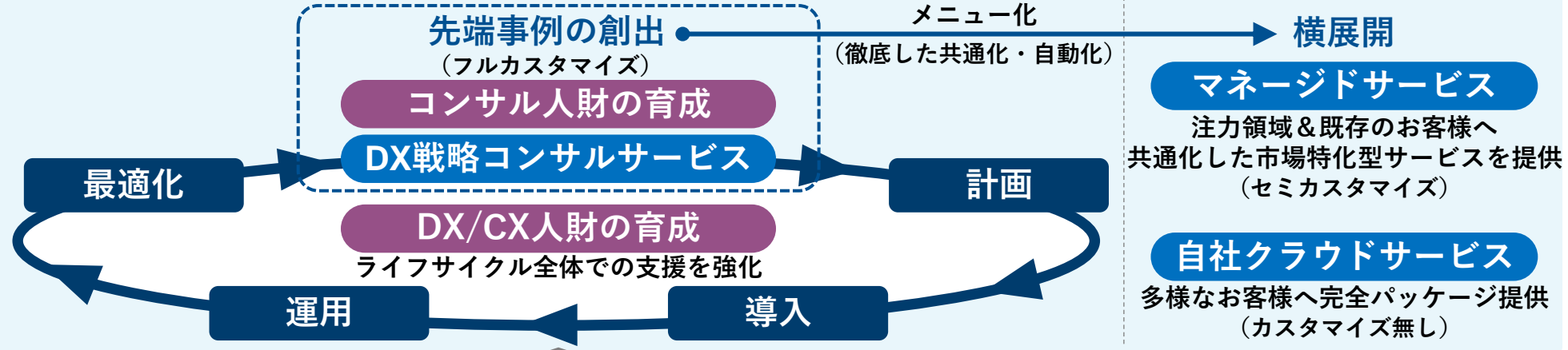
サービス戦略

統合サービス事業の強化 & 先端事例の創出及び横展開

サービス比率：55%へ

投資

- ✓ 徹底した見える化
- ✓ サービス人財育成
- ✓ サービス提供設備



組織・人財

社会課題解決&サービスシフトを加速

営業部門の再編

サービスに適した人事評価・報酬制度

技術部門の集約

セグメント単位に再編し、課題解決に注力
営業事務作業を移管し、お客様との対話時間を拡大

サービス視点で、FY23に全面刷新予定

先端事例&新サービスの創出
提供サービスの高品質化&共通化&自動化

強固なコーポレートガバナンス & 新しい企業文化の醸成

持続的成長に向けた機会とリスクに対して、事業成長と社会課題解決の両軸での影響度の高さから優先順位付けを行い、特に重要度の高い4つの課題をマテリアリティとして特定

安心・安全な高度情報社会の実現



1 課題・領域別ソリューション・サービスの提供

- 社会課題解決型ソリューション*1売上高
.....'24年目標 **300**億円

2 サービスビジネスの拡大と推進

- サービス比率 '24年目標 **55%**

*1 社会課題解決型ソリューション:
「デジタルガバメント」「Society5.0」「スマートマニユファクチャリング」の中計注力3領域

プロフェッショナル人材の活躍



1 次世代を担うIT人材の育成

- セキュリティ人材
CISSP取得者 '30年目標 **80**名
安全確保支援士 '30年目標 **100**名
- クラウド人材
フロント部門 '30年目標 **50%**増
('21年比)
- DX人材
コーポレート部門 '30年目標 **150**名増
業務改善提案 **100**件
('22~'30年の累計)

● 次世代ICT人材の育成

2 ダイバーシティ&インクルージョンの推進

- 女性役職者比率 '30年目標 **15%**
- 新卒採用女性比率 '30年目標 **50%**
- 男性の育休および出産時の特別休暇取得率 '30年目標 **90%**

脱炭素社会への貢献



1 ビジネスを通じた温室効果ガス排出量削減

- グリーンソリューションの拡大

2 自社の事業プロセスにおける排出量削減

- 中長期目標の策定

持続可能な成長を実現するガバナンス体制の維持強化



1 企業文化醸成と内部統制強化

- 企業文化の醸成に向けた取り組みとして社員意識調査を毎年実施
※ 将来的な調査結果の開示を予定

- 再発防止策の進捗報告

2 健康経営*の実現

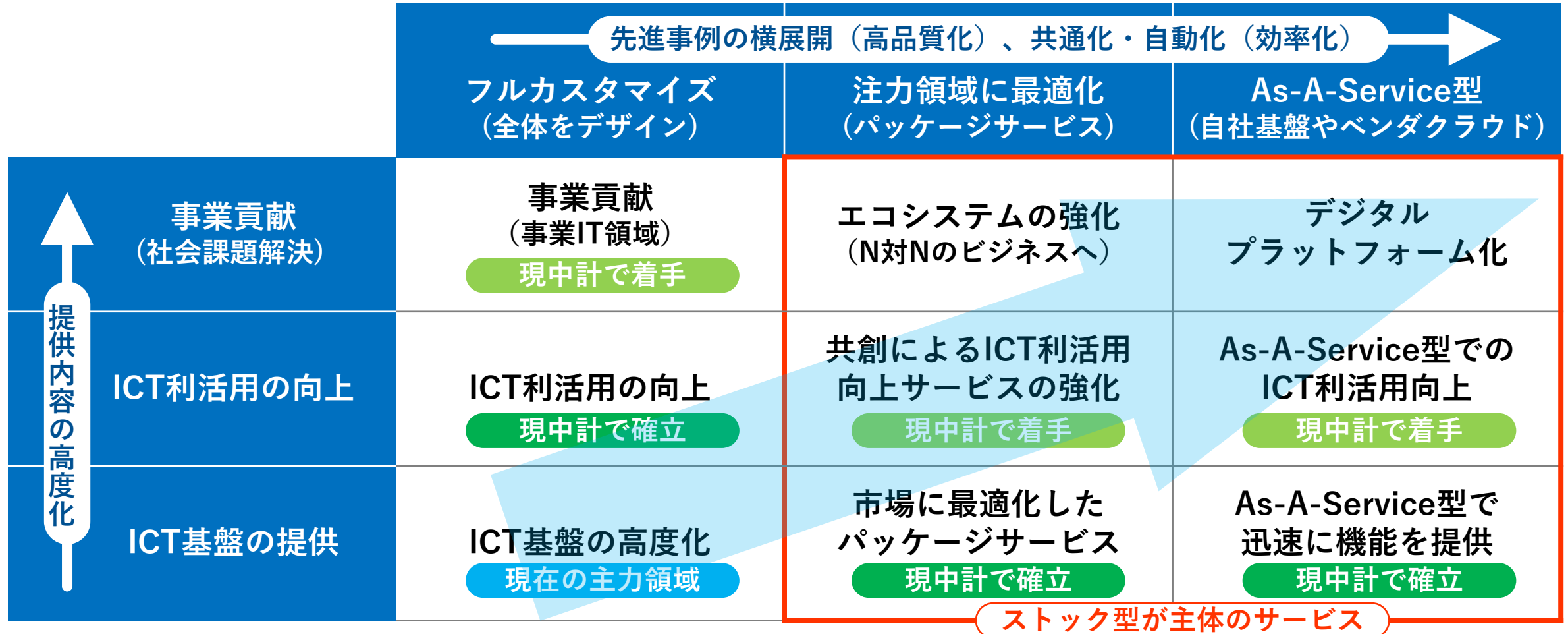
- 健康経営優良法人への認定

3

サービスシフトの加速

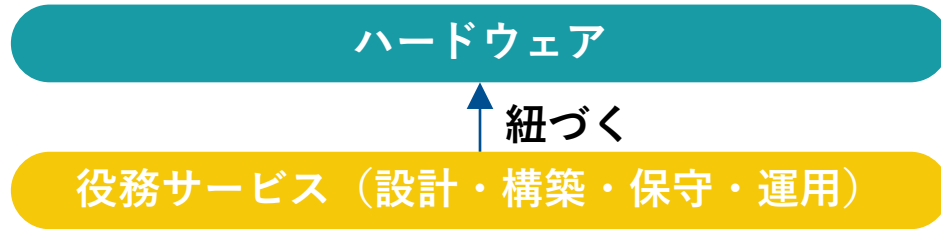
サービスの高度化によって、事業貢献（社会課題解決）に寄与する先進事例を創出
その先進事例の共通化・自動化によって、効率的なサービス展開及びストック型ビジネスを拡大

右上のbox（高度化と効率化を両立し、ストック型ビジネスを拡大）へとサービスを進化

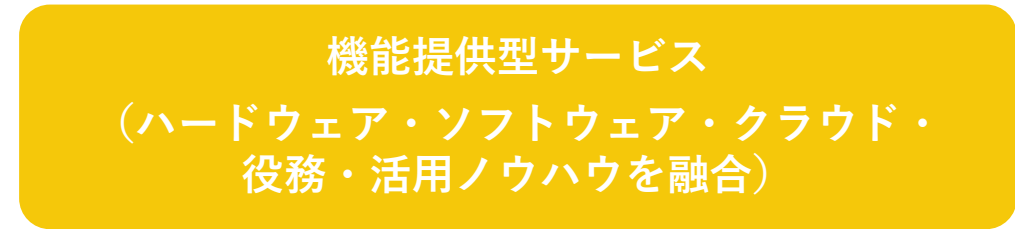


安定成長・収益性向上に向けて、
ハードウェアに紐づかない機能提供型の新しいサービスビジネスを創出・拡大

【従来】



【今後】



【機能提供型サービスの創出に向けた取り組み】

1. 先端事例の創出

(フルカスタマイズ)

DX戦略コンサルサービス

事業貢献に向けたDX戦略の策定を支援
グランドデザイン、ICT投資効果の測定、業務プロセスの効率化

2. 横展開

マネージドサービス

お客様のICT基盤の機能と運用をトータルで提供

2. 横展開

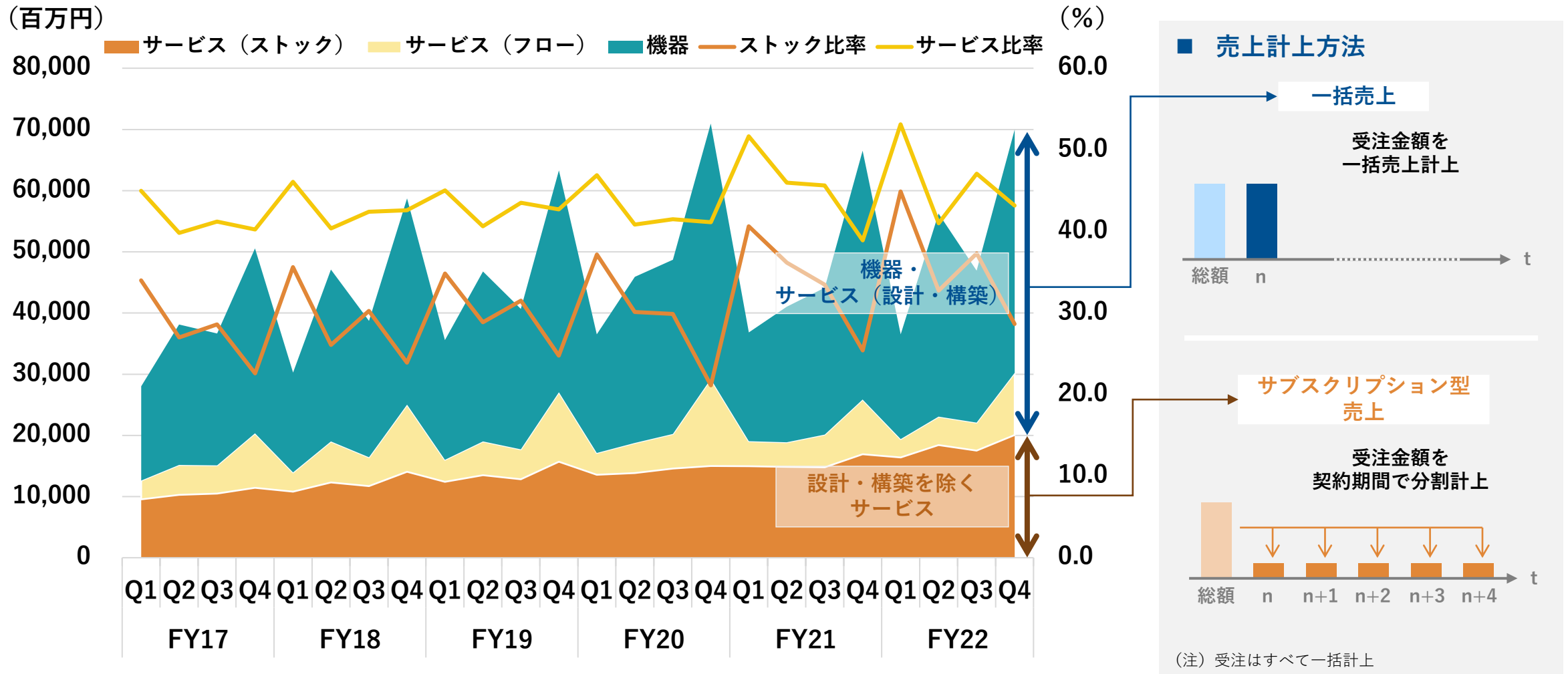
自社クラウドサービス

ICT基盤の機能 (ネットワーク/セキュリティ等) を、
ネットワンシステムズの設備からサービス提供

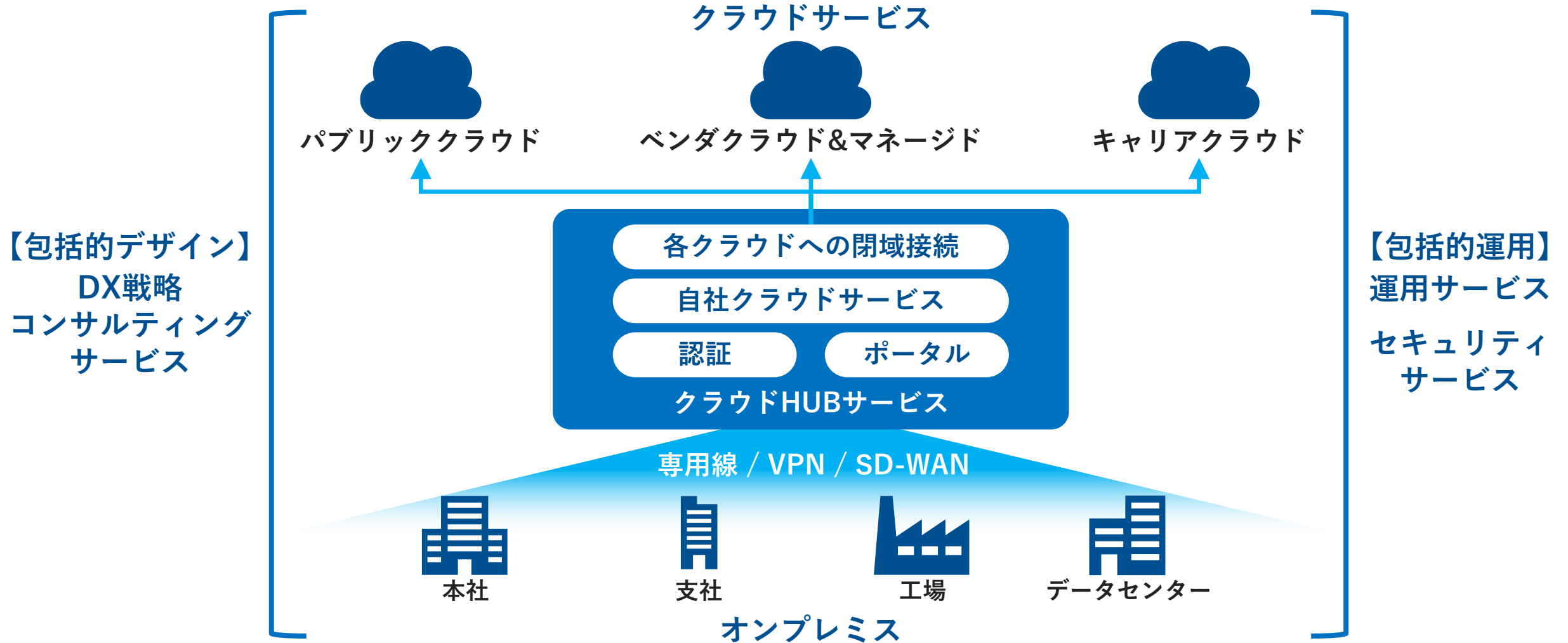
【機能提供型サービス】

ストック型ビジネスによる収益の安定化

設計・構築以外のストック型サービスを拡大させ収益率の向上を図るとともに、サブスクリプション型の課金モデルを採用することにより収益の安定化を図る



オンプレミスとクラウドを包含したICT基盤を構成
中長期視点で(DX戦略コンサル)、機能の利活用にフォーカスし(マネージド)、先進的な事例を活用(自社クラウド)



【 Purpose 】
人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、伝統と革新で豊かな未来を創る

貢献領域

- スマートマニュファクチャリング
- Society5.0を実現する社会基盤
- デジタルガバメント



社会課題

- 脱炭素
- 少子高齢化
- 地方創生

つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



net one